福島県立医科大学学術成果リポジトリ
FUKUSHIMA MEDICAL UNIVERSITY

国際被ばく公衆衛生看護学講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2020-05-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000949

その他の業績・作品等

林　剛平. 放射能汚染地における藍の 6 次化開発. 20180115. フィールドワーク.

国際被ばく公衆衛生看護学講座

論　　文

〔原　著〕

Hasegawa A, Takahashi M, Nemoto M, Ohba T, Yamada C, Matsui S, Fujino M, Satoh K. Lexical analysis suggests differences between subgroups in anxieties over radiation exposure in Fukushima. Journal of radiation research. 201804; 59(Suppl_2):ii83-ii90.

山田智恵里, Bolormaa Tsedendamba, **堀内輝子**, **片桐和子**, **末永カツ子**, Enkhtuya Palam. モンゴルでの被曝対策住民活動の導入　介入前健康調査報告. 日本国際看護学会誌. 2018; 1(1):25-34.

〔その他〕

浦田秀子, **新川哲子**, **末永カツ子**, **山田智恵里**, **田中祐大**, **大石景子**, **南原摩利**, **高橋真菜美**. 放射線看護の専門職育成に向けて　長崎大学・福島県立医科大学共同大学院. 日本放射線看護学会誌. 201803; 6(1):80-81.

研究発表等

〔その他〕

山田智恵里, **末永カツ子**, **堀内輝子**, **大森康孝**. モンゴルの対被ばく住民活動の展開. 日本国際看護学会第 2 回学術集会; 20180915; 福島.